

美々津中学校通信

3月号

R7. 3. 1

発行者校長



美々津中HPへ

学級のつながりで受験突破

中学3年生にとって二月から三月は大変重くて苦しい時間となります。それは、「入試」という大きな壁が立ちはだかるからです。誰もが通っていく道かもしれませんが、本人たちにとっては、人生で初めて訪れるとてつもなく大きな壁です。そんな時にこんな想いで踏ん張ってくれる集団（仲間）だったら素敵だなあと思う詩があります。それが下記の「きみもと」という詩です。

宮崎県では、毎年一月下旬に私立高校入試、二月上旬に県立推薦入試、三月上旬に県立一般入試が予定されています。その入試の1週間後には合格発表がやってきます。そうすると二月中旬には、私立専願合格者、県立推薦内定者が同じ教室の中に存在する中で、残り3週間余りをこれから一般入試に向かう生徒たちが同居しながら授業を受けていかなければなりません。自分の席の前の人がこれから受検しようとする高校に内定しているとしたら決して穏やかな気持ちでは居られないでしょう。様々な焦りと不安が勉強する集中力を奪うかもしれません。そんな中で、毎日を過ごさなければならぬとき、学級の仲間がこんな気持ちでいてくれたら、どんなに勇気を持てることでしょう。

きみもと

きみのように ぼくも
ぼくのように きみも
きずついている

ぼくたちは
まだ海を知らない小川を流れている水
流れながら
海（の）あそこがれに
海（の）おそれに
苦しくなつて
はん濫しそうになるときがある

きみがたえているとき
きみのように ぼくも
ぼくがたえているとき
ぼくのようにきみも
と
想いあいたい



そのことを踏まえて、3年木村教諭は学級経営をしてきました。「受験は団体戦」を合言葉にこの1年間学級の「つながり」を創ってきました。その熱意が生徒たちにも伝わり、体育大会、ひまわりフェス、日常生活で十分にできています。今まさに、この「つながり」を発揮し、この苦しい受験期を乗り切つてほしいと切に願っています。

元プロ野球選手による 野球教室

二月五日（水）、本校野球部保護者の縁で元プロ野球選手（巨人・篠塚和典氏）による野球教室が実現しました。篠塚和典氏といえば、1980年代に原辰徳氏らとともに巨人の黄金期を支えた名二塁手で、独特の流し打ちが左打者のお手本とまで言われた選手として有名です。その篠塚和典氏が本校で指導をしていただけるにあつて、生徒・保護者ともに楽しみにしていました。

最初は、守備の指導で細かなボールの入り方や捕球の仕方など基本的な指導をいただきました。後半は、打撃の指導で、振るフォームやボールとの距離の取り方、体重移動など具体的なポイントを教えていただきました。

2時間余りの時間でしたが、生徒たちは食い入るように話を聞き、自分のものにしようという姿勢が随所に見られました。巨人軍のキャンプの視察の合間に時間をつくってくださり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。生徒たちもこの日学んだことを活かして、必ずや試合で発揮してくれるものと期待しています。ありがとうございました。



日向市 「いのち・愛・人権」展

二月十四日（金）から二十八日（金）までの2週間、日向市教育委員会主催による「日向市いのち・愛・人権展」が日向市役所1Fロビーで開催されました。これは、市内の小中学生を対象に同和問題をはじめとした人権尊重を訴える作文・標語・ポスターを募集し、その中から入選作品を展示し、多くの方々に鑑賞してもらうことにより、人権感覚を高め、人権のまちづくりを進めることを目的に開かれています。本校からは、10名の生徒が入選しました。

【作文】敷田美咲（2年）

【標語】小林輝信（2年） 橋本清子（2年） 長野怜央（3年）

【ポスター】是則真澄（1年） 橋口倅羽（1年） 橋口希海（1年） 海野優（3年） 黒木遙希（3年） 八尋貴光（3年）



予告なしの避難訓練

二月十九日(水)本年度3回目の避難訓練を行いました。今回は、予告なしで授業中以外の時間をねらって意図的に実施しました。今回の訓練を行うに当たって、先週(二月十二日)に事前の防災学習を実施し近いうちに予告なしで訓練が実施されることを生徒たちには、告知していました。

本校は、海抜5、5mで海岸から約100m程度しか離れておらず、ひとたび津波が発生したら一刻を争う状況での避難が求められます。その危機感も含めて授業中以外の時間に発生したらどのように対応しなければならぬかを生徒たちに考えさせたいというねらいから、今回の実施となりました。避難に要した時間は約2分、津波到達の時間を地震発生から12分から15分と推定すると早い避難にはなったと思います。

訓練後、体育館に集まり、事後検証の集会をしました。防災士の黒木邦寛さんは、真剣で機敏な訓練であつたことを称賛されると同時に、



実際に地震が起きてどのような判断して逃げるかは個人の判断に委ねられると話されました。また、同じく防災士の黒木茂紀さんは、地震が起きたら揺れが収まるまでは安全な場所待ち、その後避難しなければならぬが、今回皆さんは、地震発生のアナウンスと同時に避難してしまつた点は反省点だと指摘されました。今回予告なしでの避難訓練を実施し、改めてその場の個人の判断が重要となることがわかりました。学校や自宅といった定点ではない場所で起きた場合は、なおさら個人の判断が求められます。どのような場所、時間に発生しても日頃の訓練や学習が活かされるよう個人のスキルを高めておきたいと痛感しました。



2/19読み聞かせ

二月十九日(水)、第5回読み聞かせが行われました。すっかり毎月の読み聞かせが定着した感じがあります。今回も様々なジャンルの絵本を様々なスタイルで披露していただきました。各学年の絵本のタイトルと読み手(読み聞かせボランティア)は左記の通りです。生徒たちは、ボランティアの方々の読み声に集中し、すっかり絵本の中身に吸い込まれているように見えました。読み聞かせボランティアの皆さん、ありがとうございます。今回もさわやかな朝のひとときでした。

【1年生】

「泣きみそ校長と弁当の日」

(海野 千浪さん)

【2年生】

「ことろのばんば」
「どうぞのいす」
(橋口 洋子さん)

【3年生】「むれ」「こどもかいぎ」
「それしかないわけでしょう」

(廣田 可奈子さん)



行事予定

- 3月 1日(土) 県立高等学校卒業式
- 3月 3日(月) 県立一般入試事前指導
年度末整理期間(5時間)
- 3月 4日(火) 県立一般入試・職員会
・校務部会
- 3月 5日(水) 県立一般入試
- 3月 7日(金) 弁当の日・クラスマッチ
- 3月 10日(月) 性教育・希望面談(→13日)
- 3月 11日(火) 読み聞かせ・式歌練習
- 3月 12日(水) 職員会・RD
- 3月 13日(木) 卒業式練習(全学年)
- 3月 14日(金) 振替休業日
- 3月 15日(土) 式練習・式準備
- 3月 16日(日) 第78回卒業式
- 3月 18日(火) 県立高校合格発表
- 3月 19日(水) 全専委・中央委員会
- 3月 20日(木) 桜 春分の日

- 3月 21日(金) 振替休業日
- 3月 26日(水) 修了式・離任式

部活動計画

◆軟式野球部

- 3月 1日(土) 練習試合(妻中 美々津G)
- 3月 8日(土) 練習試合(大王谷、富田中、日置G)

◆女子ソフトテニス部

- 3月 1日(土) ★橋口スポーツ杯(個人戦:お倉が浜)
- 3月 8日(土) 送別試合(日向サンパーク)
- 3月 29日(土) 練習試合(住吉、東大宮等;西都原)

◆卓球部

- 3月 1日(土) 練習試合等(日向・黒岩:日向中)
- 3月 23日(日) ★中島スポーツ杯(延岡アリーナ)

現学年最終月～次学年につながる成果を!